

[A部会 発表要旨]

新学習指導要領の全面実施を見据えた小学校外国語活動・外国語科の研修

岐阜県総合教育センター

指導主事 清水 浩樹

I はじめに

2020年度からの小学校高学年における英語教科化、中学年における外国語活動の実施に向け、文部科学省作成の新教材を用いた指導に対応するため、昨年度、教材執筆者等から直接学ぶことで小学校教員の指導力の向上を図る研修講座を開設した。

今年度は、同講座を小中連携の観点から見直しを図り、英語の免許を持たない小学校教員が「外国語活動」及び「外国語科」の授業で、自身の英語に自信をもって指導を行うために、対話、演習、模擬授業等を通して、英語らしい発音や基本的な英語表現を身に付ける研修を行っている。

II 研修方法及び内容

1 小学校英語教科化対応講座

(1) 研修方法

- ・教育センターで年2回の連続講座として開催。対象は各小中学校の希望者。

(2) 研修内容

- ア 大学教授による講義 「初期段階の読むこと・書くことの指導・評価」
- イ 教科調査官による講義 『『考えながら話す』を踏まえた言語活動と評価』
- ウ 校種別研修「英語教育推進リーダーによる新教材を用いた模擬授業」

2 小学校教員のための Classroom English 講座

(1) 研修方法

- ・教育事務所ごとに年3回開催。対象は各小学校の希望者。

(2) 研修内容

- ア 外国人講師による英語の発音練習や児童とやり取りするためのワークショップ
- イ 英語教育推進リーダーによるマイクロティーチング

3 上記1及び2の講座と他の研修・事業とのつながり

- (1) 中学校英語授業実践支援講座との同日開催による移行期間における小中連携
- (2) 生徒の発信力強化のための英語指導力向上事業「研修協力校」の取組支援

III 成果・課題と今後の方向

- ・学校現場のニーズに合わせた研修を通して、新教材を活用した指導改善が進んでいる。
- ・「話すこと」の能力を測るパフォーマンステストの改善を図る必要がある。
- ・小学校の5領域の評価に関わる研修や、新教科書に対応した指導改善に関わる研修を実施することを検討中。